

平成29年10月15日執行

鶴岡市議会議員選挙

選挙公報

～次代に笑顔をつなげるために～

- ☆元気で潤いのある暮らし
健康で元氣な暮らしと魅力ある文化芸術の推進
- ☆安全・安心と持続発展する地域コミュニティ
地域防災力の向上と一人ひとりが活躍する地域づくり支援
子育て介護予防における支援施策の展開
- ☆農林水産業の発展と産業の活性化
園芸振興による所得向上施策の展開
産業の活性化による若者の地元定着の促進
- ☆教育・スポーツで心身の健全な育成
子どもの学力体力向上施策の展開
スポーツで二人ひとりが楽しむ場づくりの推進
- ☆生活環境の充実
域内交通網の整備や排水等の治水対策の促進

経歴 1953年(昭和28年)生
朝陽第5小学校、第2中学校、庄内農業高等学校卒業後就職。鶴岡地区消防事務組合消防士を経て鶴岡市農林水産部、教育委員会社会教育課主幹、中央公民館長、視聴覚センター館長・女性センター館長、納税課長、総務課長兼総務部次長を歴任。
平成28年4月より道形町町内会長を務める。

「鶴岡に住み、暮らして良かった」と一人ひとりが実感し、笑顔になるまち。そんなまちを目指し、取り組んで参ります。

声を力に行動します。



佐藤まさよし

山形県鶴岡市道形町八番四号



小野よこお

日本へ住みやすい町鶴岡へ

- 一、安心安全な暮らしの確立
止まらない人口減少に歯止めをかけるには、安心して子育てできる町。高齢者が住みよい町。地域コミュニティの充実を柱に、ハコもの行政から住民主導行政運営に転換を求めます。
- 二、農・工・商の活性化対策と雇用促進
農・工・商連携による地場産業の起業化が、安定した雇用に繋がる。販路拡大など市の積極的関与を促進します。
- 三、議会チエック機能強化
議会最大の責任を放棄している議会構成を打破し、正常に行政執行をチエックできる議会機能体制強化に取り組みます。
- 四、庄内病院医療体制の充実
庄内病院経営安定。信頼できる医療体制の充実。中核病院としての役割責任。医師、看護師の確保を主に進言します。

暮らしをまもる 平和をまもる

憲法9条は世界に誇る日本の宝

- ◎子どもの医療費は18歳まで無料に
- ◎学校給食費は無償に
- ◎学童保育の充実を



- ◎国保税の引き下げ
- ◎介護負担の軽減
- ◎高齢者の足の確保、タクシー券の支給

【略歴】
●1962年酒田市生まれ。県立酒田工業高校、立正大卒業。日本共産党品川地区委員会勤務。生活協同組合共立社勤務、同労組書記長など歴任。
●好きな映画:七人の侍、武器なきたて、好きな音楽:ビートルズ、山下達郎。
●最近の料理:野菜の天ぷら。
●家族:妻、長男と次男

- ◎給付型奨学金制度の拡充
- ◎県の取り組みとタイアップ 正規雇用化促進

生協活動23年、暮らしと平和を守る運動に全力投球



山田まもる

日本共産党

美しい鶴岡を未来の子供たちへ

- 自然と人の絆で美しい鶴岡に
- 「農林水産業を振興し、食文化の源である山と里と海を守り育てます」
 - 「農林水産物のブランド力向上。流通・販売と輸出強化。新規就業者の支援育成。食文化発信と商工連携」
 - 人と人の絆で安心できる鶴岡に
 - 「市民の絆を大切に、子供からお年寄りまで安心できる暮らしづくり」
 - 「多世代同居・近居の推進。健康長寿の施策推進。婚活支援。子育て支援の充実。教育環境の充実。支援」
 - 元気と元気の絆で活力ある鶴岡に
 - 「パイオ産業の集積と地場産業・観光振興による雇用の創出、若者の地元定着・帰郷で元氣な鶴岡に」
 - 「産業先端研究を核に企業集積推進。商工観光業の振興と情報発信。若年層の定着(ジョブ)促進。地元就職時の奨学金返済支援」

選挙運動3つの約束

- アイドリングストップを励行します
- 家族だんらん配慮し 街宣は午後7時までとします
- 休憩時間を考慮し 正午から2時までスピーカーは使いません



おのぞら

鶴岡市大西町23-129

若い力で政治を変える

子育て世代の声を市政に 39歳

- 子どもの医療費18歳まで無料に
- 学校給食費は無償に
- 学童保育の充実をさらに



- 国保税の引き下げ
- 介護負担の軽減
- 高齢者の足の確保、タクシー券の支給

非正規雇用から正規雇用へ 住宅リフォーム助成の拡充

【略歴】1978年鶴岡市家中新町生まれ、市内日枝に転居。朝陽第一小、鶴岡第三中、羽黒高校卒。(株)東北サイエンスに勤務。09年、12年、14年の衆議院山形3区候補。現在 党鶴岡地区委員長。朝一小PTA役員。



長谷川ひろし

日本共産党

誇れる街、鶴岡を創るために これからも走りつづけます

野村ひろとは地域の元氣と健康の在り方をしっかりと見つめています

野村ひろとの政策

- ◎行政改革と財政健全化策の推進
- ◎農林水産業をはじめ地場産業の活性化
- ◎研究・教育・文化都市としての発展
- ◎高齢者の福祉、子ども達の健全育成
- ◎働き盛りや子育て中の方々への施策の充実
- ◎交通の利便性向上
- ◎広域観光の振興
- ◎災害につよい街づくり

DISCOVER TSURUOKA事業 鶴岡にあるモノを[活かす]街づくりを

- 音楽・文学を活かした街づくり
- 絹を活かした街づくり
- 食の都庄内を活かした街づくり
- 酒・酒蔵を活かした街づくり
- 奥の細道を活かした街づくり
- さくらを活かした街づくり



野村ひろと

略歴 ●昭和30年5月10日生
●大山中学校卒業 ●鶴岡南高等学校卒業 ●新潟大学法文学部卒業
●ブルガ(株)勤務
●加藤一衆議院議員秘書(鶴岡事務所15年間勤務)
●鶴岡市議会議員・五期(18年)務める